

■共通テスト当日の動きについて（先輩からの報告）

受験の最初の山である共通テストまであと少し。3年生は2日間にわたり共通テスト最終リハーサルを行いました。今回の進路だよりでは、共通テスト当日の会場の様子を先輩たちから提供してもらいました。年によってルールが変わる場合が（コロナ対応等もあるため）ありますが、当日の動きのイメトレの参考にしてみてはいかがでしょうか。

Q1 入場から教室に行くまでの行動を教えてください！

- ・7:50 頃には 50 人くらいの受験生（ほとんどが前女生）が並んでいました。入場後、受験票（クリアファイルに入れたまま）を係の人に見せて校内に入ります。生徒玄関のところに受験番号と部屋番号が掲示してあるのでそれを見て教室に向かいます。

→今年**は校門前での先生方の応援もできそう！受験番号と会場は校門前にも掲示されているので、前もって見ておくとスムーズに入場できそうですね。**

- ・自転車はいつもの3年生の駐輪場でOK。

→**自転車の前女生は礼儀正しく自転車を押して入場しましょう。校内を爆走してはいけません。**

Q2 教室の様子を教えてください！

- ・40人の教室に前女生は30人くらい（※教室によって3~4割程度のところや数名のところも）。教室は静かでありおしゃべりする雰囲気ではない。廊下で友人と談笑している前女生も結構いた。他校の生徒が多い教室では雑談の音が耳障りなこともある。
- ・教室の入り口に座席が貼ってあり、そこで自分の席を確認できる。
- ・ガストーブではなくエアコンを使っていたのでいつもより少し寒かった（部屋によっては空調が効きすぎて暑いところもあるようだ）。試験が終わるたびに換気をされるのでそのたびに室温がグッと下がる（カイロ必須）。

Q3 休み時間の過ごし方を教えてください！

- ・ここは「夢の国か？」と思うくらいトイレは混んでいた。休憩時間は長めなので少し時間をずらしていくと割と空いていた。男子トイレはガラ空き。

→**トイレの穴場の男子トイレ。男子の受験生はいないので、他校の生徒は絶対使えないでしょうね！**

- ・とにかく休み時間が長い。休み時間でHPが削られる。
- 教室では自習している人が多いようですが、あまり自席で勉強しているとお尻が痛くなっちゃうらしいです。適度に廊下を散策して（達磨を探しながら）リフレッシュするのもアリかもしれませんね。**

- ・友達と廊下でしゃべる人、教室で勉強している人、仮眠をとる人、お菓子を食べている人、それぞれ自分のペースで過ごしていた。

- ・体育館を利用している人は少なめだが、体育館は上着がいらなくらい温かい（ただし机はない）。

- ・昼食は自分の席で黙食を指示され、時間も一応指定される。でも、ほかの休み時間でもおにぎりとかお菓子とかゼリーとか全然食べられる。

→**これは早弁日常の前女生にはありがたい情報。昼まで弁当なんか待てねー！って人はいつも通りの過ごし方でOK。今日だけはダイエットのことは忘れて休み時間はしっかり糖分補給しましょう。**

- ・他校の受験生は早速終わった試験の話をしている。聞いちゃダメダメ！！

→**受験会場にはいろんな人がいます。私服の既卒生もいれば、なぜか上が制服、下がジャージ、という理解不能な格好できた他校生も（しかも複数）いたそうです。もちろん何着てきてもいいけど、周囲のトリッキーな動きに心を乱されてはいけません。**

Q4 試験中の様子を教えてください！

- ・監督は3~4人。注意事項の読み上げや携帯の電源確認など試験ごとに毎回しつこいくらいに指示される。受験番号や科目のマークについても何度も念を押される（※それでも去年は間違えた人がいました）。

- ・監督は最終入室時刻の15分前くらいに教室に入ってきてずっと黙っている。定刻になると「参考書などをしまってください」と指示があり説明が始まる。

- ・全体的にピリピリした感じはなく、どちらかという模試の雰囲気に近い。
- ・試験終了10分前くらいになると声掛けがある（そのたびにドキッとする）。
- ・地歴公民の問題用紙をまとめているビニールがかなり開けにくかった。拳手をして監督を呼んでいる受験生もいた。
- ・30分遅刻してきてドアを開けた人がいた。遅刻者の受験は20分までしか認められていないので、入室させてもらえなかった。

→これは怖い！前女生ではない（はず）ですが、ちょっとした勘違いですべてを台無しにしてしまうのが受験です。すべて早め早めの動きを心がけましょう。

Q5 試験後の雰囲気はどんな感じ？

- ・「ここは夢の国か？」と思うくらい退場時はめちゃくちゃ渋滞する（学校出るまで20分かかった）。友達と一緒に帰る人は待ち合わせ場所を前もって決めておいた方がよい。

→車の送迎もコンビニなどは絶対×。罰が当たります。

- ・「やっと1日終わった。明日も頑張ろう」という声があちこちで聞こえた。他校の友人と久しぶりに再会するなど、笑顔で帰っていく受験生が多かった。

Q6 他にも注意すべきことはある？

- ・腕時計は必須。電池チェックも忘れずに。
- ・ゴミ箱も撤去されます。消しかすを床に払うのが抵抗ある人はゴミ袋なども持ってくとよいかも。
- ・問題は忘れず持ち帰る。前女会場とはいえ取っておいではくれません。
- ・何気に「受験上の注意」にほとんどのことは書いてある。当日万が一体調が悪くなった時の対象法なども載っています。 マーカー等で線を引いて確認し、当日も受験票と一緒に持っていくとよいです。

■女性研究者は増やせるか 東北大学准教授の1日

12/11（月）朝、のNHKのニュースにて、東北大学の女性登用のニュースが流れました。研究者として生きる女性の姿を追ったドキュメンタリーでしたが、その中で本校を卒業した先輩が出演していました。当時担任をしていたT先生から早速連絡をとっていただき、せっかくの機会なので、研究者としての進路を選択し、4月か

ら企業で働く先輩から、後輩にあててのメッセージを寄稿していただきました。これからの社会で女性研究者として生きるモデルケースとして興味をもってほしい、という意味でメッセージを紹介します。

はじめまして！前女卒業生のIと申します。現在は東北大学大学院の薬学研究所に所属しています。

今回、高校2年生の時担任だったT先生から縁あって連絡を頂き、この文章を書かせてもらっています。前女から東北大学薬学部に進学し、来年から製菓会社でお菓子の研究をすることになるまでの私の進路について紹介させていただきます。こんな進路もあるんだなと参考にしてもらえたら嬉しいです！

私は高校生の頃薬剤師を目指しており、大学は薬学部を選びました。大学の授業ではただ薬の名前を覚えるだけではなく、「薬の候補はどのように探すのか」「錠剤や粉薬などどんな形にすれば最大限効果を発揮できるのか」といったような製薬に関することを幅広く学びました。その中で、私は「薬が体の中でどのように働くのか」という部分に興味を持ち、マウスを使って薬の効果を実際に調べられる研究室を選びました。しかし、学部生のうち研究活動ができる期間は1年ほどしかなく、もっと深く研究がしたいと思ったため、同じ研究室で大学院に進学することを選びました。研究室では、マウスを用いた投与実験やマウス検体のPCR検査など、様々な実験を行っています。その他にも、論文執筆や学会発表準備などのデスクワークも行いながら、日々楽しく過ごしています。

そんな6年間の大学生活を経て、私は来年から森永製菓株式会社の研究開発職として働くことになりました。当初は薬剤師になるために薬学部に入ったのですが、大学の6年間で知らなかった職業がたくさんあることに気付きました。その中で、私は「病気を治すため」ではなく「病気になる食生活を支えるため」に働きたいと思うようになりました。薬学部で学んだ知識を活かして、好きなだけ食べても健康でいられるようなお菓子が作れたらいいなと思っています。

大学は、高校よりも長い時間を過ごすことになる非常に大事な場所です。高校生活も日々忙しいとは思いますが、たくさん調べて納得のいく第一志望校を見つけてください。みなさんが後悔のない進路を選ぶことを願っています。